

ドキシル治療中の口内炎予防法①

ブラッシング(歯みがき)

- 毎食後、ブラッシングを行ってください。
- 歯ブラシは、毛先の柔らかいものを使ってください。
- 本試験では、歯みがき粉としてバイオティーン® トゥースペーストが提供されます。



バイオティーン® トゥースペースト

ブラッシング方法

- 1 歯面・歯肉に毛先が触れる程度にタッチする。
- 2 同じ位置を数回やさしく磨く。毛先をしんなりさせて、プラークを除去する。
- 3 場所を移動して同様に磨く。

保湿

- 毎食後(ブラッシング後)、就寝前に、保湿剤を塗ってください。
- 不快感があるなど合わない場合は、医師・看護師にお知らせください。
- チューブから少量(1cm位)を綿棒または清潔な指に出し舌にのせ、口の中全体にまんべんなく薄く塗り広げてください。
- 本試験では、口腔粘膜保湿剤としてバイオティーン® オーラルバランス®が提供されます。



バイオティーン® オーラルバランス®

手指で塗る



舌で塗る



専用スポンジで塗る



分からないことや気になることがございましたら医師・看護師にお知らせください。

ドキシル治療中の口内炎予防法②

うがい

- アズノール®うがい液を使って、少なくとも1日数回(毎食後、就寝前)うがいを行ってください。

【アズノールうがい液の作り方】

アズノール®うがい液4% 5~7滴を、約100mLの水、またはぬるま湯に溶かしてください。

- Grade 1*の症状の口内炎が発症した場合は、キシロカイン®アズノール®うがい液を使って、少なくとも1日数回(毎食前、就寝前)うがいを行ってください。

【キシロカイン®アズノール®うがい液の作り方】

アズノール®うがい液4% 25滴と4%キシロカイン 20mLを、蒸留水 500mLに溶かしてください。

- Grade 2*以上の症状の口内炎が発症した場合は、担当医に相談してください。

症状の程度	症 状
Grade 1	わずかに症状はあるが、通常の食事は可能。
Grade 2	症状はあるが、食べやすく調理した食事は可能。
Grade 3	症状があり、十分な栄養がとれない。 流動食であれば食べられる。
Grade 4	痛みが激しく、食べることができない。

WHO基準参考



お薬による治療

- ドキシル®による治療が始まりましたら、下記の2種類のお薬が処方されますので、忘れずに飲んでください。

【粘膜保護薬】

- ・ムコスタ®錠100mg 毎食後1錠
または
- ・ムコスタ®顆粒20% 毎食後1包(0.5g)

【ビタミンB群製剤(ビタミンB6およびB12を含む製剤)】

- 〈例〉
- ・ノイロビタン®配合錠 毎食後1錠



分からないことや気になることがございましたら医師・看護師にお知らせください。